

都市の緑 3 表彰 受賞者決定

「第41回緑の都市賞」「第32回緑の環境プラン大賞」「第20回屋上・壁面緑化技術コンクール」

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

(公財) 都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした3つの表彰事業「都市の緑 3 表彰」を実施しております。

このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

第41回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、他》

1981(昭和56)年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰します。(P2-P4)

第32回緑の環境プラン大賞 《国土交通大臣賞、他》

1990(平成2)年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。(P5-P8)

第20回 屋上・壁面緑化技術コンクール 《国土交通大臣賞、環境大臣賞、他》

2002(平成14)年に創設。都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、地方公共団体、個人等を表彰します。(P9-P12)

* 表彰式は、令和3年11月22日(月)にオンラインにて開催いたします。

主催 (公財) 都市緑化機構：会長 矢野龍 東京都千代田区神田神保町 3-2-4
(一財) 第一生命財団：理事長 斎藤勝利 東京都千代田区平河町 1-2-10 ※
※ 緑の環境プラン大賞主催

特別協賛 第一生命保険株式会社：代表取締役社長 稲垣精二 東京都千代田区有楽町 1-13-1

第41回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数 28 件、第一次審査会：令和3年8月20日、第二次審査会9月17日

◎内閣総理大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	わたり 渡里湧水群及び緑地等の保全と活用 (茨城県水戸市)	わたり 渡里湧水群を活かす会	都市域の外縁に位置する崖・川際の緑と湧水地の豊かな自然を取り戻すべく、竹・雑草の処理、水路・遊歩道の整備、生・植物の保全、災害時の水資源の確保、住民向け視察会の開催等様々な取り組みにより、歴史的環境の保全と生物多様性が創出された。	

◎国土交通大臣賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	街中に多様な生物が共生する美しい雑木林を復元 (神奈川県横浜市)	港北ニュータウン 緑の会	「森林と水辺、歴史的な遺産を緑道で結ぶ都市計画」により創出された緑を、住民の長年に渡る整備・管理・運営で、荒れた竹林や雑木林の整備、生物調査等に加え、観察会を開催する等、子ども達の実自然観察や家族の憩いの場等で利用される雑木林が復元された。	
緑の事業活動部門	グランドメゾン 浄水ガーデンシティ (福岡県福岡市)	積水ハウス株式会社/ 内山緑地建設株式会社/ 古賀緑地建設株式会社/ 清水建設株式会社/ 株式会社手島建築設計事務所/ 株式会社フィールドフォー・デザインオフィス	福岡市都心部から程近い広大な敷地において、地名の由来である浄水場跡地の緑地など周辺の自然環境との繋がりと、近隣住民との交流の場や安全な通学路となる緑道の整備などコミュニティの核づくりに取り組んでいるプロジェクト。	
緑のまちづくり部門	「岐阜県都市公園活性化基本戦略」に基づく県営都市公園の活性化 (岐阜県)	岐阜県	平成 28 年に策定された「岐阜県都市公園活性化基本戦略」を基に、主要4公園のコンセプトの再設定等により県営公園全体の底上げを図る取り組み。都市公園という形で緑を確実にストックし、これを核に地域産業や人材育成等、総合的な地域づくり等に貢献している。	

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	西山古道を核とする京都西山の里山緑化まちづくり事業 (京都府京都市・長岡京市)	特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク	西山三山を結ぶ山岳信仰の道である西山古道の復元・管理と合わせ、放置竹林を伐採し鎮守の森となる緑地公園の開園等により、乙訓地域の魅力づくりや活性化に寄与するとともに、アジサイと陽光桜による緑化活動は街中にも拡大している。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概 要	
緑の市民協働部門	生き物の命をつなぐ森づくり (京都府 乙訓郡大山崎町)	久保川と天王山の森を守る会	歴史と文化が蓄積された景勝地である天王山を拠点に、地域住民、企業、小学校と共に 2.7ha の放置竹林の整備・管理を行っている。林相を転換することで生物多様性の森とすることを基本理念に、地域住民の散策道や地域小学校の環境教育(ESD)の場を創出している。	
緑の事業活動部門	暫定広場 GOOD PARK プロジェクト (埼玉県 大里郡寄居町)	一般社団法人 ドコデモヒロバ	中心市街地活性化事業の進む町有地の一部を暫定的に緑化し、コロナ禍における屋外スペースの創出に加え、広場整備や寄せ植え街路樹の実証実験を目的とした事例。寄せ植え植栽パレットによる空間緑化を通じたまちづくりや生態系ネットワークづくりの普及を目指す。	

◎奨励賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概 要	
緑の市民協働部門	環境保全の大切さを伝える環境活動 (埼玉県狭山市)	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	東日本大震災における避難者支援を契機に 2011 年より活動を開始し、不法投棄に悩む住民の要請により環境整備にも着手を開始した。入間川の水辺林の整備は6年目となり、漁業関係者や行政等と協議しつつ、地域住民に親しまれる水辺林を目指し活動している。	
緑の市民協働部門	緑豊かな公園づくり (新潟県 燕市・三条市)	特定非営利活動法人 ネットワークみどり緑	未整備であった都市公園を、自然豊かな公園にしようと 2001 年に市民のボランティア団体が結成され、公園を造成してきた。「三燕みどりの森公園」として供用開始後も管理やイベントを実施し、多くの市民の参加を得、学校等の課外活動の場にもなっている。	
緑のまちづくり部門	グリーンインフラを活用した散歩したくなるまちづくり (大阪府吹田市)	吹田市	市が有する豊かなみどり空間の活用と、みどりの持つ多様な機能活用の視点から、部署間で連携しつつ「健康・医療のまちづくり」を基本方針に掲げた公園の再整備等を進めている。また、市民、大学等様々な連携を通し、多様で新しい緑の活用を検討、展開している。	

第41回 緑の都市賞 概要

■目的

緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている地方公共団体を顕彰することにより都市緑化普及啓発の推進、地球にやさしい生活環境の保全、創出を図り、もって緑豊かな安全、快適な都市の実現に寄与することを目的としています。

■募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格:主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの
緑の事業活動部門	応募資格:主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO 法人等で、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む
緑のまちづくり部門	応募資格:主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの

■表彰

内閣総理大臣賞	1点	[副賞 20 万円 (活動助成金)]
国土交通大臣賞	3点以内	[副賞 15 万円 (活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3点以内	[副賞 10 万円 (活動助成金)]
奨励賞	若干	[副賞 5 万円 (活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■スケジュール

募集期間 2021 年 4 月 1 日～6 月 30 日 入選発表 2021 年 10 月 14 日
審査会 一次：2021 年 8 月 20 日 二次：9 月 17 日

■審査委員

委員長 樺山 紘一 印刷博物館 館長
委員 池邊このみ 千葉大学大学院 園芸学研究院 教授
宇野 善昌 国土交通省 都市局長
瓜生 宗大 第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員
佐藤 滋 早稲田大学 名誉教授
篠沢 健太 工学院大学建築学部まちづくり学科 教授
野口 智子 ゆとり研究所 所長/NPO 法人スローライフジャパン 副理事長
堀内 保潔 一般社団法人日本経済団体連合会 産業政策本部長
柳井 重人 千葉大学大学院 園芸学研究院 教授
柳野 良明 公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構
後 援：国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会
特別協賛：第一生命保険株式会社
協 力：日本商工会議所、公益社団法人日本青年会議所、一般社団法人日本公園緑地協会、
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般財団法人公園財団、
一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、
公益財団法人河川財団、一般社団法人日本建設業連合会

第32回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数48件、審査会:2021年9月10日

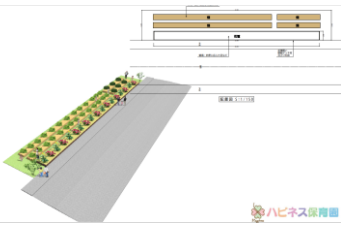
◎国土交通大臣賞 [2点]

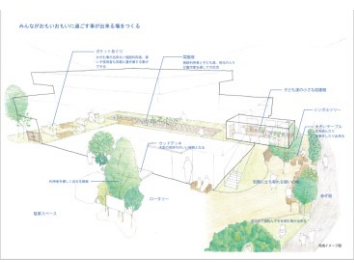
部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	ビバテラス・まなびの森庭プロジェクト (岩手県盛岡市)	ビバテラス BeBA TERRACE 運営協議会	公民連携による公園の整備運営に取り組む事業で、「あそび」と「まなび」をコンセプトに建物を包む明るい広葉樹林と広々とした芝生、美しい花を愛で野菜づくり等が学べるガーデンをつくり、人々が憩い、遊び、ふれあえる空間の創出を目的とする。また、行政に頼らない都市公園経営を目指す。	
ポケット・ガーデン	園庭まるごと ビオトーププロジェクト (福島県郡山市)	社会福祉法人 どろんこ会 八山田どろんこ 保育園	地域と子ども達と一緒に自然と共生する場を創り、次世代の子ども達とSDGsを考えることを目的とする。 ＜地域＞自由に行き来し、人が繋がりが合うコミュニティの場の形成 ＜環境＞命の営みを感じる園庭で五感を使い地球環境を考える場の形成 ＜循環と共生＞全ての生き物が支え合い、共に暮らしていることを体験から感じる場の形成	

◎緑化大賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	(仮称)九段南一丁目 プロジェクト 九段ひろば (東京都千代田区)	合同会社 ノーヴェグランデ	皇居お濠端に立地する九段会館の建替えに伴う、緑・水・歴史を感じられる外部空間づくりを通して、施設利用者や近隣住民、オフィスワーカー等の憩いと交流の場を創出する計画。子ども達が花植えに参加する花壇や、近隣住民が収穫に参加する菜園をつくり、都心にありながら人々が能動的に関わる緑地づくりを目指す。	
シンボル・ガーデン	唐招提寺 「香りの薬草園」 鑑真和上才花苑 (奈良県奈良市)	宗教法人唐招提寺	ユネスコより「古都・奈良の文化財の一部」として世界遺産に登録されている唐招提寺の境内に鑑真和上ゆかりの「香りの薬草園」を創設し、国内外からの参拝者に広く公開するプラン。作業には地域住民や近隣の子どもの参加を得るなど地域の交流に資するとともに、訪れた人々が癒しや活力を得ることができる薬草園を目指す。	

◎コミュニティ大賞 [9点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概 要	
ポケット・ガーデン	日本の四季を五感で感じ、食育活動に繋がる保育園 (宮城県石巻市)	株式会社 エルプレイス ハピネス保育園南境	子どもたちと季節に合った野菜を育て・収穫し・食すまでの一連の流れを体験し、命の大切さを感じることが出来る畑を作る計画。畑を野菜や花で彩ることで、子どもたち・職員・地域の人にも癒しを与えることができる保育園作りとともに、保育園が地域交流の場となることを目指す。	
ポケット・ガーデン	あびっこたちの『ぼうけんやま』 (千葉県我孫子市)	社会福祉法人樹 聖華みどり保育園	多くの参拝客のある鎮守の神社と隣接し、市道にも面していることから、地域の人の目に触れやすい保育園の園庭に3つのブースに分けた築山を作る。お散歩する親子や神社を参拝する人が、築山に登ったり、畑を見たり、丸太道を歩いたり、疲れた時にはケヤキやイチヨウの木陰で休んだりして、園児たちと交流する事を目指す。	
ポケット・ガーデン	五感で感じる色彩と香り。時を越えて紡がれる記憶 (静岡県浜松市)	社会福祉法人慈愛会 瞳ヶ丘こども園	園庭で体験した心地よい風、葉のざわめく音、草花の香り、木の実の感触。感覚の記憶は子ども達の大切な財産。特に五感の中で最も記憶と結びつく「香り」という要素を遊びや保育活動の中に取り入れるとともに、季節ごとの特徴的な「香り」を放つ木々を植え、地域の方にも香りから季節感を感じてもらおうという計画。	
ポケット・ガーデン	ーすべてを育む、風の吹く丘ー 「育むガーデン河芸」 (三重県津市)	渡辺硝子株式会社	道の駅と近接し、交通の要所で食を中心とした地産地消の情報発信エリアとなっている元農地約2000坪の遊休地全体を使い、「育むガーデン河芸」を創出する計画。観賞用のガーデンではなく、ここを訪れる皆で育むガーデンとし、周辺の方々にも野外教育を目的に広く開放する。	
ポケット・ガーデン	地域を結び、世代を結ぶ。食育庭園『ゆうわの庭』 (兵庫県 神崎郡市川町)	特定非営利活動法人 合氣道播磨裕和会	100年前には地域や世代が集う、文字通り「中の家」であった屋敷の庭に、今春、同会が障害児通所支援事業としての「ゆうわ・あいき」を開設。今後、過疎地のコミュニティを再生する必要性から、この広大な「ゆうわの庭」が地域愛を育む食育拠点ともなるように緑化整備していく計画。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	古都に広がる 里山の彩り (奈良県奈良市)	奈良・人と自然の会	平城宮跡地区歴史的風土保存地区にある「ならやま里山林」は、長らく放置され荒廃していたが、同会が管理を受託して、今は地域住民が訪れる憩いの場となった。これをさらに、子供たちが学び、遊び、つながるための場として活用するとともに、多くの生き物が生息できる環境を育む計画。	
ポケット・ガーデン	令和に伝えるふるさとの自然「ふれあい里山ガーデン」 (広島県広島市)	広島市立 くらかけ 倉掛小学校	くらかけ小学校がある場所は、かつては豊かな里山だった。今回の計画は、「現在の観察池を中心に緑地を整備してホタルを育て、他の生き物も育つ」「周辺の多様な昆虫が集まるゾーンとアケビや栗やクルミ、山椒など里山の実りを体験できるゾーンをみんなでつくり育てる」ことで、今も残るふるさとの自然を愛し守ろうとする心情を養うというもの。	
ポケット・ガーデン	地域の寄る処 『ふる里の庭』へ (福岡県糸島市)	西日本短期大学 緑地環境学科 山本ゼミ	本企画は、『介護老人保健施設ふる里』の利用者の心身のリハビリ・機能回復とともに、地域住民と関わりをもっていただくことが目的。また、「同地域で課題となっている竹林拡大阻止とヒートアイランド緩和に寄与するため園路を竹チップ舗装とする」「地域住民と協働の維持管理をする」という計画。	
ポケット・ガーデン	もりのちいさな図書館 ～ひろがりのなる庭～ (熊本県 葦北郡芦北町)	NPO 法人みさと	デイサービス利用者と地域住民、地元の子どもたちとの交流の場にしようと計画され、令和2年7月豪雨により一端中止されたものの、水害後だからこそ必要との思いでできた『もりのちいさな図書館』。水害の爪痕が残る中で図書館の周りに緑を増やし、癒しの空間づくりと共に安心、安全な居場所、世代を超えた地域交流が深まる場とすることを目的とした計画。	

第 32 回 緑の環境プラン大賞 の概要

■目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図り、生活の質の向上やコミュニティの醸成等につなげるものです。

■募集の対象

シンボル・ガーデン 部門	全国を対象	緑の持つ環境保全機能(ヒートアイランド緩和効果・生物多様性保全効果等)を積極的に取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成やコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ地域のシンボリックな緑地プランを募集します。
ポケット・ガーデン 部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動およびクールスポットの創出を通して、地域交流やコミュニティの活性化・子どもの遊び場作り、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育や身近な環境の改善等のアイデアを盛り込んだプランを募集します。

■表彰

●シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1 点	副賞 800 万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2 点程度	副賞 800 万円以内（工事に対する助成金）

●ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1 点	副賞 100 万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9 点程度	副賞 100 万円以内（工事に対する助成金）

■審査委員

委員長	進 士 五十八	福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授
委員	稲 垣 精 二	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	宇 野 善 昌	国土交通省 都市局長
	坂 井 文	東京都市大学 都市生活学部 教授
	鈴 木 裕 一	株式会社産業経済新聞社 取締役
	永 山 妙 子	マネジメントコンサルタント
	三 上 真 史	俳優・タレント
	村 上 暁 信	筑波大学 システム情報系 教授
	盛 田 里 香	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	柳 野 良 明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

（順不同、敬称略、2021 年 9 月現在）

■スケジュール

募集期間	2021 年 4 月 1 日～6 月 30 日	入選発表	2021 年 10 月 14 日
審査会	2021 年 9 月 10 日		

■主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
 後 援：国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協 力：一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、
 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会、株式会社産業経済新聞社

第20回「屋上・壁面緑化技術コンクール」受賞団体

応募総数19件（屋上緑化部門：6件、壁面・特殊緑化部門：9件、特定テーマ部門：4件）

審査委員会：2021年9月13日

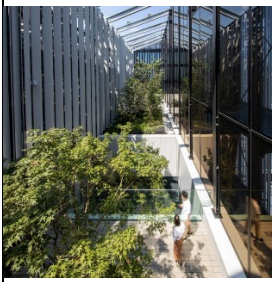
◎国土交通大臣賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	SAKURA MACHI Kumamoto (熊本県熊本市)	九州産交ランドマーク株式会社/ 株式会社日建設計/ 大成・吉永・岩永・三津野・新規 建設工事共同企業体/ 西武造園株式会社/ 株式会社景匠館/ 株式会社皆楽園	本作品は熊本城の南に位置する花畑公園・花畑広場に隣接するランドマークの緑化である。城とのつながりをよみがえらせるため、地上約30mに「現代の陽春庭 ^{ようしゅんてい} 」と位置付けた屋上庭園を配置し、現代では希薄になってしまった熊本城との関係を「熊本城と庭つづき」として再構築した。	
特定テーマ部門	伊勢丹新宿店 本館7F 日本庭園 (東京都新宿区)	株式会社フィールドフォー・ デザインオフィス/ 株式会社三越伊勢丹プロパティ・ デザイン/ 清水建設株式会社/ 株式会社日比谷アメニス	本作品は既存レストラン、共用スペースに隣接する百貨店の緑化である。日本人が持つ自然観の美を、水をテーマに空を映し込む水盤、時限的に発生する幻想的な霧、算より注ぐ細やかな水流等で表現した。時や季節の移ろい、野鳥や蝶の飛来を重ね合せ、心の安らぎを与えている。	

◎環境大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	WITH HARAJUKU (東京都渋谷区)	NTT都市開発株式会社/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社伊東豊雄建築設計事務所/ 株式会社朝日興産	本作品は明治神宮の杜に面した鉄道駅前の複合商業施設の緑化である。立体的な通り抜け街路と地域のスケールに合わせた緑化テラスが、街に新たな人の流れを生み出した。建築の層間は、プレキャストコンクリートによる深い庇を緑化し、重層的なボリュームのある緑を創出した。	 @Nacasa & Partners

◎日本経済新聞社賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	ミュージアム タワー 京橋 (東京都中央区)	株式会社永坂産業・公益財団法人石橋財団/ 株式会社日建設計/ 戸田建設株式会社東京支店/ 内山緑地建設株式会社	本作品は京橋における高さ150mの超高層建築の21～23階の緑化である。執務室からの眺めを意識して設計されたスキップフロア型屋上庭園は、竣工後に検証実験によって、オフィスで働く人の健康や快適性の向上、都市部超高層でのオフィス環境の新しい姿を実現している。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
壁面・特殊 緑化部門	住友不動産 ショッピング シティ 有明ガーデン (東京都江東区)	住友不動産株式会社/ 前田建設工業株式会社/ 有限会社テラダデザイン一級 建築士事務所/ 株式会社マインドスケープ/ 灯デザイン/ 大和リース株式会社	本作品は湾岸地域の周辺施設・地域間をつなぐ新しい生活拠点の緑化である。多樹種のプランターを積層した「グリーンカーテン」、植栽を積層プランターと光の積層幕で環状にした「グリーンリング」等、圧倒的な緑量で来客者を迎え、自然を感じる寛ぎの場を提供している。	

◎都市緑化機構会長賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
壁面・特殊 緑化部門	住友商事 美土代ビル 室外機芋緑化 (東京都千代田区)	株式会社日建設計	本作品は蒸散作用で室外機が吸い込む空気の温度を下げる緑化である。実証実験では、夏場のピーク時で約10%の消費電力が低減した。ヒートアイランド現象の低減、光合成による酸素の供給、サツマイモの収穫という付加価値もある、一般の人に親しみやすい緑化技術である。	
壁面・特殊 緑化部門	MIYASHITA PARK (東京都渋谷区)	三井不動産株式会社/ 渋谷区/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社日建設計/ 西武造園株式会社/ 株式会社グリーンニアン	本作品は立体都市公園制度を活用したPPP事業による緑化である。全長265mにわたるツインアーチによる緑の天蓋(キャノピー)には、長尺つる性植物を事前養生して植栽した。渋谷らしいアクティビティと緑陰を提供しながら、新しいシンボルとなる都市景観をつくりだしている。	

◎奨励賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
特定テーマ 部門	コーセー 先端技術研究所 サンクンガーデン (東京都北区)	株式会社コーセー/ 株式会社日建設計/ 株式会社大林組/ 株式会社日比谷アメニス/ 日本地工株式会社	本作品は都内の閑静な住宅地の一角に位置する研究所の緑化である。地下1階から3階までの吹抜け空間を持つ2つのサンクンガーデンに、ワイヤーやチェーンをつたって垂直に生長するつる植物を配し、各階ごとに印象の異なる「立体的なみどりの風景」が生み出されている。	

第20回 屋上・壁面緑化技術コンクール 概要

■目的

屋上等特殊空間の緑化について、積極的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的としています。

■応募対象

屋上緑化部門	建築物の屋上、屋根の緑化、 地下駐車場などの屋外の地下躯体上の緑化(人工地盤上の緑化)
壁面・特殊緑化部門	①建築物の壁面の緑化 ②土木構造物の壁面(高架道路壁面、擁壁等)の緑化 ③土木構造物の高架(道路・鉄道高架部分、橋等)上・下空間の緑化 ④屋内(アトリウム、室内、地下空間等)、ペランダの緑化 ⑤その他通常の方法では緑化が困難な空間の緑化
特定テーマ部門 「小規模空間の緑化」	屋上緑化部門、壁面・特殊緑化部門に準ずる、応募作品の面積が300㎡以下の緑化

・応募作品の完成時期:2020年3月31日までに完成したもの。

■表彰

表彰	表彰者	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	国土交通大臣	異なる部門から2点以内	土木・建築計画、都市計画等の観点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
環境大臣賞	環境大臣		生物多様性、環境への配慮等の観点から、特に技術水準が高く、今後の環境緑化技術の模範となる最も優れた作品
日本経済新聞社賞	日本経済新聞社		商業施設における緑化の効果により、経済・社会等に好影響を与えた緑化技術等に優れた作品
都市緑化機構会長賞	都市緑化機構会長	全部門から1～2点以内	技術面や緑化技術の普及啓発面での先駆的な取り組みが優れた作品又は、特に類を見ない特色を有する優れた作品
奨励賞	審査委員長	特定テーマ部門のみ1点	地域の課題解決に資し、緑化による先駆的な取り組みが優れた作品

■スケジュール

募集期間 2021年 4月 1日～6月30日 入選発表 2021年10月14日
審査会 2021年 9月13日

■審査委員

委員長	山田 宏之	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
委員	飯島 健太郎	東京都市大学環境学部環境創生学科 教授
	井上 洋	一般財団法人ダイバーシティ研究所 参与
	今村 芳恵	一般財団法人日本建築センター 理事
	瓜生 宗大	第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員
	貝島 桃代	筑波大学芸術系 准教授
	佐々木 大輔	日経BP 日経アーキテクチュア編集長
	鹿野 央	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
	鈴木 克彦	環境省水・大気環境局大気環境課 大気生活環境企画官
	棚野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■主催・後援等

- ・主 催:公益財団法人都市緑化機構
- ・後 援:国土交通省、環境省、東京都、日本経済新聞社
- ・特別協賛:第一生命保険株式会社、協賛:住友林業株式会社
- ・協 力:一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター